

# 2017年を振り返って

市長短信  
H29年12月26日

## 1 本年取り組んできた主な取組

ヤングシニア生きいきプロジェクト事業	糸島市UIJターン相談会
認知症カフェ助成事業	“糸島生活体験事業”「いとしまちよつと暮らし」
ファミリーサポート検討事業	前原北部まちづくり推進事業
糸島市保育支援事業	糸島市版DMO設立支援事業
ひとり親家庭等修学支援事業	松林アダプト事業
学校施設大規模改造事業	自主運行バス事業
小中学校普通教室空調設備整備事業	原子力防災用大型自動車運転免許取得事業
小中学校防災機能強化事業	庁舎本館耐震改修事業
小学校英語教育推進事業	木材の市内活用型サプライチェーン構築事業
中学校英語検定推進事業	農産物ブランド化推進活動支援事業
コミュニティスクール推進事業	漁港機能増進事業
再生可能エネルギー発電設備導入促進事業	糸島マーケティングモデル推進事業
野球場・テニスコート改修整備事業	ママライタースタートアップ事業
胸骨圧迫訓練評価システム導入事業	福吉水道施設改修事業
移住促進豊かさ実感バスツアー事業	ショートショートフィルムフェスティバルin糸島



### ■取組の成果を感じる主な出来事

- 合併以来減少し続けてきた人口が増加へ転じる。  
→合併以来、10万人を超えて新年度を迎えたのは初。
- 観光入込客数613万人を突破（前年比5.8%増）  
→合併時に比べ163万人増加（約36%の増）
- 九州大学との国際村構想策定  
→産・学・金・官の連携により、伊都キャンパス周辺の国際化に向けた受け皿づくりがスタート。  
→地元との「前原北部のまちづくり構想」等と併せ、学術研究都市づくりを具体的に進める。

⇒これまでに行ってきた取組が実を結んだことは大変喜ばしい。今まで撒いて来た種を育てながら、新しい種を撒き続けていきたい。

# 「地方創生★政策アイデアコンテスト2017」で2年連続入賞

## 1 昨年度に引き続き2年連続全国大会へ出場

### ■内閣官房主催の『地方創生★政策アイデアコンテスト』に、2年連続で入賞

- 受賞者：岡 祐輔（おか ゆうすけ） 主査（秘書広報課ブランド推進係所属）
- 全国647組の応募からファイナリスト5組に選ばれる。
- 今回は、最優秀賞を逃したものの「帝国データバンク賞」を2年連続受賞  
※前回は「最優秀賞」＋「帝国データバンク賞」を受賞
- 当日プレゼンをした5組の中でも、特にその高いデータ分析能力が認められた。



#### 【地方創生★政策アイデアコンテスト】

- 開催日：12月16日
- 場 所：東京大学 伊藤謝恩ホール
- 主 催：内閣官房
- 概 要：内閣府が運営する地域経済分析システム「リーサス」を活用し、地域を活性化  
するアイデアを提案し、分析力と企画力を競うコンテスト。  
今回は、全国975組から選ばれたファイナリスト10組（高校生以下の部、大学生  
以上一般の部、各5組）を対象に最終審査が行われた。



## 2 発表テーマは「糸島ファームtoテーブル」

### ■全国に糸島の食材を広げるために

- 東京をはじめ、全国のレストランに糸島食材を活用してもらうことを目標とする取組
- 課題や現状分析、仮説の設定や戦略の組み立てなどに、様々なデータ分析を組み合わせる企画を立案
- ※今回提案した企画は、既に事業として取組が始まっており、今後の効果が期待される。

⇒昨年度の最優秀賞受賞に続き、本市の職員が2年連続入賞したことは、大変喜ばしいことであり誇りに感じている。

岡主査の身につけた分析・企画力はさることながら、「自分を磨くこと」への意識の高さと努力する心は、他の職員にもぜひ広げていきたいと考えている。